

【ポイント】

- 27日夜、当地において中国観光客（女性）1名が新型コロナウイルスに感染していることが確認された旨発表。
- 季節性インフルエンザと同様に咳エチケットや手洗いなどの感染症対策に努めてください。

【本文】

1 27日夜、スリランカ政府から、スリランカを旅行中の中国人女性1名が新型コロナウイルスに感染していることが確認された旨の発表がありました。また、当局は、依然として感染疑いのある患者がいるとしており、以下のとおり、本感染症に対応する指定病院及び24時間ホットラインも開設したことを明らかにしました。

<指定11病院>

- 1.Colombo North Teaching Hospital (CNTH)
- 2.Gampaha Hospital
- 3.Negombo Hospital
- 4.Kandy National Hospital
- 5.Karapitiya Teaching Hospital
- 6.Anuradhapura Teaching Hospital
- 7.Jaffna Teaching Hospital
- 8.Kurunegala Teaching Hospital
- 9.Ratnapura Provincial General Hospital
- 10.Batticaloa Teaching Hospital
- 11.Badulla Provincial General

<新型コロナウイルス相談窓口（ホットライン）>

0710107107

0113071073

2 スリランカ政府は、中国からの旅行者に対する入国審査強化等の措置を講じています。在留邦人の皆様におかれては、過剰に心配することなく、引き続き季節性インフルエンザと同様に咳エチケットや手洗いなどの感染症対策に努めていただくようお願いいたします。

※コロナウイルスとは（厚生労働省 HP より抜粋）

人や動物の間で広く感染症を引き起こすウイルスです。

人に感染症を引き起こすものはこれまで6種類が知られていますが、深刻な呼吸器疾患を引き起こすことがある SARS-CoV（重症急性呼吸器症候群コロナウイルス）と MERS-CoV（中東呼吸器症候群コロナウイルス）以外は、感染しても通常の風邪などの重度でない症状にとどまります。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

(参考)

国立感染症研究所 ヒトに感染するコロナウイルス：

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-2020-01-10-06-50-40/9303-coronavirus.html>

3 また、当地では、デング熱等、蚊が媒介するウイルス性感染症も流行しています。デング熱の場合、約3～7日の潜伏期間後、高熱、頭痛、関節痛等が1週間ほど続きます。在留邦人の皆様におかれましては、蚊に刺されないよう虫除けスプレーや蚊取り線香や蚊帳などの対策をおすすめします。

4 なお、外出する際には、当局から国籍・身分等の確認を求められる可能性もありますので、身分証明書を忘れずに携行してください。

在スリランカ日本国大使館

電話：（国番号94）11－269－3831